

第 123 回定時株主総会の質疑応答要旨

2026 年 6 月 26 日（金）に第 123 回定時株主総会を開催し、14 名の株主様からご質問がありましたので、主な質疑応答の要旨を下記のとおりお知らせいたします。

記

Q: 米国クレーン事業の進展について

A: 米国市場での引き合いは増えており、今後も米国を主要市場と位置付け、クレーン輸送船の活用も含めた積極的な事業展開を行ってまいります。

Q: ROIC 経営における数値目標について

A: 当社の WACC は 2024 年度・2025 年度の株価上昇の影響により数値が高くなっておりますが、ROIC 目標は株価変動収束後の想定 WACC を十分に上回る計画としております。今後も資本効率の向上を念頭に成長を目指してまいります。

Q: 2026 年度業績予想における中東情勢の影響について

A: 中東情勢を踏まえ一定程度保守的な業績予想としております。現状では情勢は落ち着きつつあり、事業環境は改善方向と判断しておりますが、引き続き慎重に外部環境を見極めてまいります。

Q: 船用エンジンのデータセンター向け非常用電源への活用について

A: 船用エンジンはデータセンター向け非常用電源として需要があり、当社の商機となり得るものと考えております。

Q: 採用計画に対する実績について

A: 新卒・中途とも、概ね採用計画どおりの実績となりました。

Q: 保守・メンテナンスビジネス（ドローンスナップ）について

A: ドローンスナップは制御ソフトウェアであり、日本製や米国製等、個別のニーズに応じて様々なドローン機体に対応できます。

Q: アンモニア焚きエンジンの開発状況について

A: 開発は概ね完了しており、商用化に向けた最終調整段階にあります。当社は燃料供給装置とエンジンを一体で供給できる点に強みがあります。今後、アンモニア等の脱炭素燃料に対応したエンジンの需要は拡大すると考えており、引き続き注力いたします。

Q: 役員の株式保有について

A: インサイダー取引規制に留意し、役員持株会を通じて株式を取得しております。今後は、譲渡制限付株式報酬制度の導入により、持株数の更なる増加につなげてまいります。

以 上